

平成28年度 第3回地域協議会 次第

日 時：平成28年7月25日（月）
午後2時から

場 所：大島コミュニティプラザ2階
市民活動室1

開 会

1 報 告

- (1) 地区別懇談会の結果について

資料No.1

2 協 議

- (1) 引き継ぎ事項（自主的審議事項「少子化対策について」）
の取扱いについて
- (2) 地域協議会委員の視察研修について

資料No.2

3 その他

- (1) 配布資料について
- ・任命交付式での市長の講話記録
 - ・第1回及び第2回地域協議会の会議録
- (2) 地域協議会委員の勤務先への協力要請について

閉 会

大島区地区別懇談会

- ・旭地区 大島旭農村環境改善センター
平成 28 年 7 月 12 日（火） 午後 7 時～
参加者 住民 8 人 職員 11 人
- ・保倉地区 大島若者交流館
平成 28 年 7 月 13 日（水） 午後 7 時～
参加者 住民 11 人 職員 10 人
- ・大島地区 大島生活改善センター
平成 28 年 7 月 15 日（金） 午後 7 時～
参加者 住民 13 人 職員 10 人
- ・菖蒲地区 菖蒲農村環境改善センター
平成 28 年 7 月 19 日（火） 午後 7 時～
参加者 住民 10 人 職員 11 人

質問・要望など 別紙

発言者(町内)	内 容	会場での回答
(板山)	市営住宅の入居条件が緩和されたという話を聞いたが、何が緩和されたのか。	(小林グループ長) 細かいところまで把握していないが、最近条件の緩和はないだろう。違っていたら再度回答させていただく。
(田麦)	スクールバスについて、小学生が無料なのに、保育園児が有料なのは、他(親等)から要望等ないのか。	(武田グループ長) 合併前は無料であったが、他に合わせた。法律の話になるが、小学生は家を出てからが義務教育であるためスクールバスを、保育園は保育園まで連れていくのは親の負担であると区分されているため、有料と整理されている。他からの要望は把握していない。あればお知らせする。
(田麦)	ゆきわり荘について、管理人がいなくなったと聞いている。 使用内容ではなく、施設の維持管理や全体的な利活用である。 立地の良い施設が、金がないとかで至るところの施設がなくなって、ますます生活が大変になる。ある程度の赤字は仕方がないという考えはないのか。理屈はわかるが、中山間地域の中で施設がなくなれば、人口も減る。ゆあみはどうなるのか。	(山崎グループ長) 実際は、味噌や麴作り・選挙会場としての利用がほとんどである。 (古田所長) ゆきわり荘は希望者に貸し出して自由に使ってもらっている。 施設の再配置について、利用度や修繕費に係る費用対効果の中で閉館せざるを得ない施設もある。 ゆあみについては、今現在利用者数が少ない。利用が増えれば必要性が上がる。地元の方の利用があれば結果は変わっていただろうが、地元の利用も少なかったことが原因だ。つまりところ必要とされていた施設なのかというところである。
(田麦)	あさひ荘は、どういう方針なのか。ずっとあのままにするつもりか。昔の資料館も、私達がせっかく作ったのに、まるっきりそのまま、どうするつもりなのか。	(古田所長) あさひ荘については、休止中である。民間企業等で希望があればいつでも再開できる。市では、借手の募集はしない。希望があったものについて、前向きに相談にのる。 また、希望がない状態であっても、耐用年数が残っているため、取り壊すことはできない。 資料館についても、あさひ荘に付帯するような

		ものである。市全体で資料館がたくさんあるため、資料館を展示ということで、復活させることは考えていない。越後の雪国は、どこも同じようなものであるため、どこかの資料館で飾れなくなったものがあつたときの、補充としての位置づけになる。
(板山)	市道の原材料支給について、梨ノ木線は完了予定だが、上ノ山線については3年ほど前からお願いしているがなかなか進まない。次年度、増やして欲しい。	(小林グループ長) 来年度の地域要望であげていただきたい。
(田麦)	大島区道路維持費について、何も話を聞いていないが、田麦大山線についてはどこに白線を引くのか。	(小林グループ長) 図面を持ってきていないため、後日回答する。 ※後日、田麦町内会長に実施か所を説明した。
	ぶなの森園の施設営繕修繕とあるが何を予定しているのか。	(山崎グループ長) 給水ポンプの制御盤の修繕を予定している。
(板山)	ブナの木が、老樹だと枝が折れて落ちてくるが、そういった木を切って安全な状態にするのか、しないのか。 中も空洞になるため危険である。 散策中に枝が折れて被害がでてからでは遅い。 森の管理人がいればわかるだろうが、危険個所を誰も把握していない。管理するのかしないのか、どう考えているのか。	(山崎グループ長) 枝は管理の中で対応している。危険な老樹については現場を確認し対応する。

保倉地区

平成 28 年 7 月 13 日 午後 7 時～

発言者(町内)	内 容	会場での回答
(大平)	<p>大平住宅前の広場や自宅の隣の広場が年中草だらけで、町内の道普請の中で対応している。</p> <p>市から町内に正式な委託を依頼する等、誰が管理するものなのか明確にするべきだ。</p> <p>現場を見て、対応を検討していただきたい。</p>	<p>(小林グループ長)</p> <p>来年度に向け、地域要望をあげていただきたい。現業の作業員とも相談させていただきたい。</p> <p>要望をいただいた中で、現場を確認させていただく。</p> <p>※現地を確認し、集約先に協議し、現業臨時職員が対応することになった。</p> <p>丸田会長に説明済</p>
(千原)	<p>千原橋の欄干が腐食している。交通量があるので危険な状態だと感じているが今後どうなるのか。</p> <p>市の応急修繕では、塗装をただけで修繕したとは言えないような状態である。</p>	<p>(小林グループ長)</p> <p>修繕は、規模の大きいものなど計画的に行っているが、緊急性のあるものは別で対応するため、情報を逐次あげていただきたい。</p> <p>業者も全てを発見できるわけではないので、町内の皆さんからもご協力いただきたい。</p>
(千原)	<p>道路の修繕は道路計画にのせて順次実施するが、橋はどうか。</p> <p>計画にのらないと修繕してもらえないのか。早めに橋も計画にのせてもらいたい。</p> <p>業者にパトロールを委託しているが、危険箇所の報告は、町内会長が全て行わなければならないのか。業者から危険箇所の報告があげられていないように思うので、指導願う。</p>	<p>(古田所長)</p> <p>市の施設全てを、市が作業できるのが一番良いが、枯葉が詰まった等の場合は、市が委託している業者が全て対応できるような路線数ではないため、町内の皆さんからご協力いただきたい。</p> <p>災害の場合は、通報いただき市で補修をさせていただきます。</p> <p>市からの委託での作業であれば、市に責任がある場合もあるが、危険な状態であるのに、自己判断で作業をされて被害に遭われた場合は自己責任となる。危険な場合は、市に通報いただきたい。</p>
(千原)	<p>豪雨等で法面が崩れて側溝が閉塞した際、泥上げは自分たちがしなくてはならないのか。</p> <p>怪我をした時の責任はどうなるのか。</p>	
(大平)	<p>様々な事業に感謝している、着実な進捗を願う。</p> <p>このままいくと、大島区はなくなる。なくなった方が、市の経済としてはいいのだろうが、住民である自分達はそういうわけにはいかない。</p> <p>中山間ではなく、山間地に特化したも</p>	<p>(古田所長)</p> <p>非常に難しい問題であると思う。</p> <p>経済状態からみても、優良企業を誘致することも難しい。市として、過疎地域においては空き家バンクという制度をとっている。実際に空き家を購入して移住した方がいる。わずかではあるが、そのように人口減少に対する策もこうじ</p>

	<p>のとして、人口減少をゆるめるような対策をこうじてほしい。</p>	<p>ている。 皆さんからも、良い案がありましたら情報をいただき政策に活かしたい。</p>
(大平)	<p>鉄道駅舎等管理運営費の草刈りに参加しているが、高齢化での急斜面の作業は危ない。 斜面は市の土地なのか。そうなのであれば、そろそろ勘弁してほしい。</p>	<p>(滝沢次長) 今、市の土地であるかどうか、はっきりと回答できない。 (古田所長) 市は広大な土地を管理しているため、行き届かないところもあるかと思う。その中で、道路等生活に必要な場所は管理している。 駅の法面については、生活に支障がないため、市の管理の手がおよばない。地元の景観をみんなが汗を流して保つということで、今後ともご協力をお願いしたい。</p>
	<p>新堀学園跡地の処分が進んでいないが、都会ではまだ看板がでていいる。市が強行に出て早く処分するよう交渉してほしい。</p>	<p>(古田所長) 再度、撤去の依頼をする。</p>
(大平)	<p>あさひ荘の管理体制はどうなっているか。 再開はないのか。</p>	<p>(古田所長) 休止状態であり、地下水の排出のみを行っている。 再開してくれる団体があったとき、再開できるよう、休止という状態にしている。現実問題、再開は厳しい。経年劣化もあるため、かなりの修繕が必要であろう。ただ、耐用年数が残っていて除却することもできない状態である。</p>
(大平)	<p>中山間地域等活性化対策事業の集落間連携による農地保全と担い手育成を推進するとあるが、具体的にどのようなことを考えているのか。既に実施しているのか。 市独自に山間地域の農業振興について、考えていないのか。 市全体の事業ではなくて、久比岐平野の農業と山間部の農業は全く違う。それを一まとめにして同じ扱いをする</p>	<p>(山崎グループ長) 各町内で連携を組んで取り組みを行っていただいている。 今年度から新規就農者への補助金を始めた。 (古田所長) 国の補助金等を活用しながら、地域で考え活動していただくのが、一番ではないかと思う。</p>

	ことに無理があると思う。 山間地に特化した考えがあるのかと 思ったが、わかった。	
--	--	--

大島地区

平成 28 年 7 月 15 日 午後 7 時～

発言者(町内)	内 容	会場での回答
(石橋)	道田線ですが、災害時の迂回路でもある。修繕を早急をお願いしたい。	(小林グループ長) 道田線については恒久対策に向けて、今年度、測量と地質調査を行い、29年度、工事をする予定である。安全を確保したうえで、通行させるようにしたいと考えているのでご理解をお願いしたい。
	中野 403 号線について道路改良でよく通行止めになっている。星峠へ行く中野峠線があるが、数年前、地区で要望しているがガードレールが3ヶ所ほど見苦しい状態である。28年度以降検討するということがあったが改修をお願いしたい。	(小林グループ長) 以前から要望いただいていることということで、要望いただいている中で順位付けさせていただき、順次対応している。 時間が経過した中で現場を確認させていただき、改めて検討したい。引き続き要望をお願いしたい。
(大島)	道田線について恒久的な改良復旧ということで理解はできるのだが、保倉川左岸側と道路にスペースがあるのでそこを仮設的に通すのは可能ではないか。生活路線でもあるのでいつまでかかっているのかという声もある。	(小林グループ長) いただいたご提案についても、今回、補正予算時に議論した。それを踏まえて出した結論としては、安全が第一ということできちんと調査したうえで改修するという方向になった。
(石橋)	公の施設の再配置ということですが各4地区の核となっているセンターについて指定避難所にもなっているわけですが、地元への譲渡という話も出てきている。大島のセンターの負担金1戸2,100円である。譲渡となると地域の負担が増えるので、譲渡にならないようにご配慮いただきたい。	(山崎グループ長) 公の施設の再配置計画については、以前から町内会の皆さんとお話をする中で、大島区4つあるがすべて無理だということである。ただし書きの中で、施設が大きい、代替え施設がないというところは引き続き当面維持するというところである。4地区のセンターについては当面維持するということに該当すると考えている。30年まで指定管理ということで、今後も地域の皆さんと協議しながら施設の維持管理を実施する。 (古田所長) センターの活用について、旭では生産組合、地区の協議会が事務所として使用することになった。菖蒲では農産加工の加工所として使用したいという相談があった。有効に利用していただ

		きたい。
(三竹沢)	<p>空き家対策だが、三竹沢に危険な空き家が1件ある。冬の屋根の雪が道路にどんと落ちるということが1年に数回ある。長年の懸案で、持ち主がこちらにいないので対応が難しいと思われるが、一町内会でなんとかできる問題ではない。</p> <p>空き家を壊すに補助金はあるのか。</p>	<p>(古田所長)</p> <p>空き家で条件がいいものについては、空き家バンクという制度もあり市で不動産会社と提携しているのご登録いただきたい。</p> <p>危険家屋については、毎月パトロールで家の状況については点検している。強制的に壊すということだが、原則として解体費用は所有者が負担するということである。緊急的に取り壊さなければならない場合は行政がやる場合もあるが、危険度や相続されていて所有者が不明の場合、請求先がわからない状態もあるので簡単にできない。パトロールしながら状況をみていきたい。</p> <p>年末に、所有者に除雪についての手紙を出しているがなかなか応じてもらえないのが現状である。</p> <p>(山崎グループ長)</p> <p>補助金については、危険空き家に認定されていて所得が非課税の方が対象というのがあったが、その補助金については27年度に終了した。</p>
	<p>維持管理だけで建設的な予算がないようだが、地区要望であげたものについても実施されていないものがあるので実施していただきたい。</p>	<p>(小林グループ長)</p> <p>昨年要望いただいた中で、区内一円修繕の中で行うと回答し、順次行っているところである。今年度実施できない状況になった場合は、ご説明に伺わせてもらう。</p>
(大島)	<p>市の住宅の家賃ですが世帯の合算所得なのか。金額というのは市内一律なのか。</p> <p>旧上越市と大島区の住宅は一律なのか。というのも、今まで大島住宅に入っていた人の子どもが働き、所得が上がって家賃が5・6万円になり出ている人がいる。人口が減っている中で本人がいたくてもいられないような状況ではこまる。一律ではなくて、こういったところは安く設定してもらわないとますます過疎になるのでは</p>	<p>(小林グループ長)</p> <p>入居者募集の案内があるが市で統一した考えで家賃は決定している。当然、所得に応じて、段階的な設定で合算所得となる。</p> <p>住宅によって家賃設定が違う、そういった意味では一律ではない。立地条件や施設の年数により家賃は設定されている。</p> <p>(古田所長)</p> <p>住宅政策にかかわってくることになる。人口増の観点から家賃を安くして入居してもらうという方法もあると思うが、平等性ということもある。ほとんどの住宅が低所得者向けである。一</p>

	<p>ないか。平等性ということとはわからないことではないが、空いている状態であれば入ってもらったほうがいいのではないか。実情にあった対策を考えていただきたい。</p>	<p>定の所得を超えて収入があるようであれば平等性の面から負担してもらうのが必要なのではないか。</p>
	<p>あさひ荘はどうする予定か。 維持管理はどのくらいかかるのか。</p>	<p>(古田所長) 休止とさせていただいた後、民間の方が再開したが収支の関係から経営を断念し、今は、使用していない状況となっている。今は、あくまで休止であるので、どなたからやりたいという相談があれば再開ということもある。施設の老朽化が進めば廃止し解体撤去となる。再開は現実的には簡単ではないと思うが、補助金の関係から耐用年数があるうちは返還が生じてくるので、今の時点では壊すこともできない。 維持管理については、電気等は止めているので一般的な維持費はかかっていない。除雪については、トイレの除雪のついでにやっている。ボイラー室に水がたまるので、月に一回、ポンプで水を捨てている。 (山崎グループ長) 屋根の除雪については、2回分予算計上している。</p>
(大島)	<p>マイナンバーカードの取得について、将来的に利便性を高めていくことを検討しているのか。住民票をコンビニでとれるところもあるが、上越市では検討しているのか。</p>	<p>(古田所長) 利用の拡大ということで、十日町市がコンビニで住民票を取れるようにしたと聞いている。人口規模が違くと扱うデータ量が違い経費もかかることから、上越市としてはすぐにコンビニと提携して対応することが厳しい状態である。 これから他にも取り組みされる中で、当然、上越市も検討していくことになると思う。</p>

菖蒲地区

平成 28 年 7 月 19 日 午後 7 時～

発言者(町内)	内 容	会場での回答
(菖蒲東)	道田線について雪降るまでには通られないということですか。 生活道路なので不便を感じている。	(小林グループ長) 道田線については今年、調査して来年度に向けて検討するため、今年度中に通行止め解除については予定していない。 (所長) 大島地区でも、1 トンパックでも積んで仮設的に通行できないかという要望があったが、過去に2 回ほど土砂が落ちてきている状況があるので、危険防止のために地質を調べて同じことを繰り返さないような工事を行いたいということでご理解いただきたい。
(西沢)	市道下の木線はやっていただいたが、杉田和子さんの家の道については市道に格上げしないと修繕ができないということだが、その後どうなったか。 コンクリ舗装が壊れていて段差があり危険な状態である。毎年地区要望であげている。	(小林グループ長) 以前から、お話をいただいているところだと思うが、市道の格上げについて木田の道路課と協議しているのが1 件ある。その件であれば、木田に確認し回答する。
(牛ヶ鼻)	県道の除雪車の車庫の両脇に側溝があるが雨が降るとつかえ、そこからうちの田んぼの方に水が流れてくる。県にも要望しているがなかなか対応してもらえない。うまい方法を考えてほしい。	(古田所長) 町内会を通じて、写真をつけて要望をあげてほしい。市へも情報があれば、市から県へお願いすることができる。
	消防の 3m×7mのタンクをうちの敷地内に設置してある。その上を舗装してもらいたいと市へ要望しているがまだしていない。 また、冬の除雪について市道を開けるときに除雪の塊をいれていく。消火栓を壊しても困るということで、自分の除雪機で 1m以上空けているが歳を取ってきて厳しい、継続するのは困難な状態である。環境パトロール員がいる	(滝沢グループ長) 地区要望についてあがっていないことであれば、地区要望にあげてもらいたい。 消火栓の除雪については、まずは、地元の消防団と話をしていきたい。 (所長) 多雪型のものになっていると思うので、上だけでも開けてもらいたい。

	が、冬に消火栓を開けるようなパトロール員を作ってほしい。	
	牛ヶ鼻の市道が穴だらけのところがあるが、今年、1 か所だけ直してもらったが、他はいつ対応するのか。	(古田所長) 道路補修員が2人いるので、浅い穴の修繕であればすぐに埋めることができる。場所を具体的に教えてもらえば確認し対応する。 ※集約先に報告した。
(菖蒲西)	405号線の道路の拡張工事による通行止めとなっている。9月何日までという看板は出ているが、市からも業者からも地元には話がないのはおかしいのではないか。業者に確認したら8月12日には工事は終わるが、舗装はその後なのでわからないということだった。地元の人知らないで、工事場所まで行って戻ってくるといったことがある。地元で連絡をいただきたい。	(小林グループ長) 県の方に確認し対応したい。通行止めの状況については県からFAXで送られてくるが、工事の詳細についてはわからないのが現状である。 ※県が菖蒲地区4町内会長に、あらためて説明を行う。
(菖蒲東)	405号線、センターの前の街路灯が消えている。10日以上前に総合事務所へ連絡し見に来てもらったが、いつ対応してもらえるのか。	(滝沢グループ長) 本日、帰りに場所を確認し、総合事務所に戻り対応状況を確認する。 ※帰りに確認したところ、修理済で、点灯していた。

平成 28 年 3 月 28 日

第 4 期大島区地域協議会会長 様

第 3 期大島区地域協議会
会 長 石 塚 隆 雄

次期地域協議会への引き継ぎ事項について（依頼）

第 3 期大島区地域協議会では、「少子化対策について」をテーマに自主的審議を行ってきました。

第 4 期大島区地域協議会において、自主的審議を継続していただきたく、依頼申し上げます。

引き継ぎ書

1 引き継ぎ項目

自主的審議事項 「少子化対策について」

2 審議経過（平成 27 年度）

・ 第 4 回地域協議会（7 月 10 日）

横尾委員から提案された「少子化対策について」を、自主的審議事項として審議することを決定する。「大島区の年少人口の推移」の説明を受ける。

・ 第 5 回地域協議会（8 月 7 日）

少子化対策の項目を検討する。上越市の少子化対策の整理を依頼する。

・ 視察研修（9 月 1 日）

住民が増加している十日町市池谷集落を視察。集落でどのような取り組みを行っているのかを研修した。

・ 第 6 回地域協議会（10 月 30 日）

上越市の少子化対策における「子ども・子育て支援施策」について説明を受ける。

・ 第 7 回地域協議会（11 月 18 日）

就学前児童の数の推移について説明を受ける。子育て支援の各事業費の説明を求め、次回の地域協議会で説明することとなる。大島区の人口増加につながる若い世代の移住が必要とされる。移住に関して「上越やまざと暮らし応援団」による勉強会が提案される。

・ 第 8 回地域協議会（11 月 27 日）

子育て支援の各事業費の説明を受ける。「上越やまざと暮らし応援団」による勉強会の計画が説明される。

・ 勉強会（12 月 16 日）

「中山間地域への移住について（移住する人、受け入れる集落）」をテーマに勉強会を開催する。講師は「上越やまざと暮らし応援団」小山理事長、天明事務局長、鳴谷会員。

・ 第 10 回地域協議会（1 月 27 日）

国勢調査の速報値の説明を受ける。今までの自主的審議の経過、内容をもとに、移住者のための住宅対策について意見書を提出することで決定した。

・ 第 11 回地域協議会（2 月 29 日）

平成 28 年度の新潟県、上越市の予算案が公表され、移住者に対する新たな補助事業、支援策が示された。意見書で予定していた内容と合致する部分もあり、意見書の提出を見合わせた。

3 その他

平成 28 年度の県・市の移住支援策については、具体的な内容が示されていない。内容を確認しつつ、自主的審議を継続していただきたい。